

事前予告！ 前売り券は9月からの取り扱いとなります！

降りてゆく生き方

いのちを、守りたい。

映画「降りてゆく生き方」上映 in いしかり

お問い合わせは 映画「降りてゆく生き方」石狩上映実行委員会
P&Aいしかり0133-73-8868 (担当 遠藤・金子)

日時：平成27年10月12日(月) 祝日
 第1部 10:00 映画「降りてゆく生き方」上映
 12:20 講演 浦河べてるの家／北海道医療大学 向谷地生良氏
 第2部 13:50 講演 浦河べてるの家／北海道医療大学 向谷地生良氏
 14:30 映画「降りてゆく生き方」上映
 会場：石狩市花川北コミュニティセンター1階ホール
 参加費：【前売】一般：1,500円／小中学生：1,000円 ★全席自由席
 【当日】一般：2,000円／小中学生：1,500円
 ※ 当日は1階ロビー・展示コーナーで、市内障がい福祉事業所の活動紹介と製品即売を行います。

9:30	第1部開場
10:00	上映
12:00	事務局説明
12:20	向谷地氏講演
13:10	休憩
13:30	第2部開場
13:50	向谷地氏講演
14:30	上映
16:40	事務局説明
17:00	終了



ストーリーは「？」。それは映画を見てのお楽しみ！
 「どんな映画のストーリーなんだろう？」事前に知りたいという方も多いでしょう。しかし、映画を見る前にストーリーを知ることって、ハッピーなことでしょうか？
 だって、映画を観る前から、内容がわかってしまったらドキドキやワクワクが減ってしまいますよ。この映画は、いまどき珍しい、原作なしの「完全オリジナルストーリーのシナリオによる映画」です。映画のストーリーは、映画を観てから知っていただいても遅くないと思いますが、いかがでしょうか？でも、この公式サイトの情報に、映画のストーリーのヒントはちりばめてあります。そこからあなたはどんなストーリーを想像しますか？思い切り想像をふくらませて、上映会場に来てください。
 そして、その答えは、あなたの目で耳で、心で体感してください。
 (映画「降りてゆく生き方」ホームページより)

P&Aいしかり
2015年 7月18日
活動広報
第15号

どんな障がいがあっても、安心して地域で暮らしていけるようにしたい！
障がいのある人への良き理解者を増やし、広げたい！

P&Aいしかり事務局
石狩市障がい者支援センター (石狩市樽川519-2)
TEL 0133-73-8868
FAX 0133-73-8869 発行責任者 佐々木公子



第5弾 石狩市内コンビニ・スーパー等の商店への依頼活動を実施！

平成27年6月16日から27日にかけて、第5弾の石狩市内全コンビニ・スーパー等の商店への「たのんます」パンフの配布と、サポートマーク店頭貼りへの協力依頼活動を延べ22名の参加で行いました。

今回で5回目の訪問とあって、私たちの活動を覚えていただいているお店も多くあり、また新店舗も増えていましたが、皆さん快く対応していただきました。また、サポートマークを店頭に掲げて協力いただいているお店も少しずつ広がっていることを実感しました。さらに、カインズホーム花川店様、ラッキー花川南店様、ツルハ樽川店様からアンケートFAXの返信で、「P&Aの活動の主旨に賛同いただき、今後もできることに関しては協力させていただきます」とのご返答をいただきました。



お忙しい中、ご対応していただいたお店の皆様、本当にありがとうございました。





今回、石狩市内の訪問させていただいたお店は、セブンイレブン（花川南1条店・花川南3条店・花川南5条店・花川南7条店・花川南9条店・花川北3条店・花畔店・新港南店・新港西店）、セイコーマート（うえだ店・うえだ南店・花川南店・花川南9条店・花川北2条店・花川北4条店・花畔店・新港中央店・新港西店）、ローソン（花川北店・花川南9条店・新港西3丁目店）、スーパー（花川南1条店・花畔店）、サンクス石狩花川東2条店、はやしや商店、イオンスーパーセンター石狩緑苑台、Coop札幌石狩店・北海道三喜いしかり店、ホームック花川店、ビックハウス花川店、スーパーチェーンシガ、ラッキー花川南店、スーパーエース、くすりのツルハ樽川店・花川北店、ほっともっと樽川店・藤学園前店、Book・NET・ONE石狩樽川通店、しまむら石狩店、ビックリッキー石狩店、ダイソー樽川店、オフハウス石狩店、ヤマダ電機石狩店、カインズホームFC花川店の各店です。また、PAIサポーターシールを貼っていただいている店が増えてきています。Coop札幌いしかり2階の三喜いしかり店ではレジに貼っていただいたのを発見。皆さんご協力ありおがとうございます。（文責 金子 浩治）



映画「降りてゆく生き方」上映 in いしかり 自主上映へのご協力を!!

映画「降りてゆく生き方」は？

いまどき珍しい、原作なしの「完全オリジナルストーリーのシナリオによる映画」です。映画館での上映、DVDの販売、テレビでの放映を一切実施せず、映画に共感した一般の方々を中心として上映会が各地で開催されてきました。2009年4月に新潟と千葉で初上映を皮切りに、全国各地でロングランで上映されています。映画業界で7年目に突入して上映され続けるということは、極めて奇跡的な状況を生み出しています。

ストーリーは「？」

それは映画を見てのお楽しみ！「どんな映画のストーリーなんだろう？」事前に知りたいという方も多いでしょう。しかし、映画を見る前にストーリーを知ることって、ハッピーなことでしょうか？だって、映画を観る前から、内容がわかってしまったらドキドキワクワクが減ってしまいますよ。この映画は、いまどき珍しい、原作なしの「完全オリジナルストーリーのシナリオによる映画」です。映画のストーリーは、映画を観てから知っていただいても遅くないと思いますが、いかがでしょうか？でも、この公式サイトの情報に、映画のストーリーのヒントはちりばめてあります。（公式サイトは <http://www.nippon-p.org/index.html>）

この映画を自主上映しようと思った経過

👉 本映画を知ったきっかけ

「武田鉄也の三枚おろし」の中で、齊藤道雄著「治りませんように」が紹介されていました。その中で、べてるの家の向谷地さんと映画「降りてゆく生き方」についてふれられていました。これを聞いて、非常に関心を持ちました。

👉 本映画を上映したいと思った理由

映画「降りてゆく生き方」を知って早速ホームページを閲覧しました。上映2周年の対談で、浦河べてるの家の向谷地さん、自然酒蔵元「寺田本家」の23代目当主寺田啓佐さんのお話し、そして、武田鉄矢さんがそのお2人について「彼ら排除をしない。共生していく。……そういう論者なんですよ。排除の理論を絶対使わないと決心するともの見方が一変する」とのコメントがあり共感しました。

これまで私たちはP&Aいしかりの活動において、地域の中に知的障がいや自閉症などをはじめとした障がい児・者への良き理解者・サポーターを広げ、セーフティネットづくりの活動をしてきました。

いま、障がいある無しに関わらず、共生のまちづくり、地域づくりを進めていく中で、是非とも「降りてゆく生き方」の上映会やってみたいと思いました。そして、今回この映画上映について、P&Aいしかり世話人会に提案し話し合いました。この映画ができるまでなどを紹介した動画を見ながら、是非上映しようということになりました。

次ページに上映仮チラシを掲載しています。是非、この石狩の地で多くの皆さんの協力により自主上映をしていきたいと願っています。この映画「降りてゆく生き方」上映と浦河べてる／北海道医療大学の向谷地氏の講演を通し、世代や地域や立場を超えて福祉、教育、農業、環境、共生、地域づくりを見つめ直し、共に考えていきたいと思っています。

（文責 金子 浩治）

